

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

キャリア教育

『『修学旅行で買い物名人』買い物シミュレーション』 —買い物計画を通して金銭の使い方を考える—

沖縄県城辺町立砂川小学校教諭 前泊直子

事例の 位置付け	実施学年	第6学年	
	教科等	家庭科	
	単元名	生活を計画的に	金銭の使い方を考えよう。

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

キャリア教育

ねらい

- 1 買い物をした体験をふり返り、目的に合った品物の選び方や計画的な金銭の使い方に関心を持ち、適切に購入しようとする態度を養う。 【家庭生活への関心・意欲・態度】
- 2 買い物の計画・体験を通して、目的に合った品物の選び方や、計画的な金銭の使い方を考えたり工夫したりできるようにする。 【生活を創意工夫する能力】
- 3 目的に合った品物を選んだり購入したりできる能力を育む。 【生活の技能】
- 4 生活を支える金銭のしくみや時間・物・金銭を計画的に使うことの大切さが分かり、適切な買い物について理解させる。 【家庭生活についての知識・理解】

○金銭教育の目標

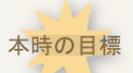
- 1 金銭は勤労の結果として得られるものであることを理解し、感謝の心をもって大切に使うてはならないことを理解できる。 【健全な金銭感覚の育成】
- 2 本当に必要なものや自分を高めるために必要なものをよく考えて買うことができる。 【健全な消費生活能力の育成】
- 3 金銭やものの価値を知り、それを生み出す親や社会に感謝できる。 【親や社会への感謝の念】

展開の特色

本題材のねらいは、「健全な金銭感覚の育成」「健全な消費生活能力の育成」といった金銭教育の目標と大きく重なるものがある。

展開にあたっては、道徳や特別活動（学校行事）、社会科と関連させ、児童一人一人が学習したことを具体的な生活場面に生かしているかを見取りたいと考えた。そこで、修学旅行という具体的で共通な場面をとらえ、買い物の計画から実践までの体験的な活動を通して、目的に合った品物の選び方や計画的な金銭の使い方を考えさせるようにした。さらに、金銭の使い方や考え方は、家庭の影響を強く受けることから、家庭との連携をも重視して進めた。そのなかでの実感をともなった気づきや友達と自分のお小遣いの使い方、考え方を比較することにより、自分の生活を見直し、よりよい消費者としての主体性を育てたいと考えた。

本時の展開



- 本時の目標
- 1 生活を支える金銭の仕組みについて考えられるようにする。
 - 2 時間や金銭を計画的に使うことの大切さが分かるようにする。

構成

- 第1次 朝の生活を見直そう……………(2時間)
朝の生活の過ごし方 (1時間)
朝の生活時間の見直しと計画的な生活 (1時間)
- 第2次 生活時間をくふうしよう……………(2時間)
1日の生活時間の計画的な使い方 (1時間)
家族とともに過ごす時間の工夫 (1時間)
- 第3次 朝食をつくってみよう……………(7時間)
朝食づくりの計画 (1時間)
朝食の材料の買い物 (1時間)
ゆでて加熱する試行調理 (1時間)
いためて加熱する試行調理 (1時間)
朝食の調理実習計画 (1時間)
朝食の調理実習 (2時間)
- 第4次 金銭の使い方を考えよう……………(4時間)
買い物の仕方の見直し (1時間)
買い物シミュレーション (1時間)
買い物名人になろう (修学旅行) (1時間)
生活を支える金銭のしくみと計画的な生活の大切さ (1時間) <本時>

memo・注

.....

memo・注

.....

